

3 学期始業式 校長講話

大雪と快晴の日を繰り返しながらも、静かに 2021 年 令和 3 年が幕を開けました。この休みは自宅でゆっくりと過ごし、例年になく皆さん英気を養えたのではないのでしょうか。

2021 年は十二支で丑年、干支（かんし）では辛丑（かのと・うし）の年です。東洋思想では、未来は既に定まったものとされていますが、人は未来を知ることはできないため、世の中の摂理を解明し、何とか未来を知る術を得ようと、さまざまな思想体系や暦のシステム、占いなどが数多く生み出されてきました。干支もそのひとつで、日本では干支というところには「十二支（じゅうにし）」を思い浮かべる人が多いと思いますが、本来は 10 種類の「十干（じっかん）」と、12 種類の「十二支」を組み合わせた、合計 60 種類の干支が存在します。2021 年の「かのと・うし」は、十干（じっかん）が「辛（かのと）」（つらい という字です）で、十二支が「丑（うし）」であるので、「かのと・うしどし」になります。果たしてこの組み合わせはどんな未来を指し示しているのでしょうか。「辛」は痛みを伴う幕引き、「丑」は生命エネルギーが蓄積され、今にも弾けそうになっている状態を表しており、殻を破ろうとする命の息吹、そして希望 という意味のようです。つまり、2021 年は、どうやら、痛みを伴う衰退と、新たな息吹が互いに増強し合う年になりそうだということです。古きことに悩みながらも終わりを告げ、新しき芽生えを見いだす年になる というのでしょうか。何を終わらせて、何を見いだすのかはその人次第ということでしょうが、心の強さと日ごろの行いをしっかり見つめながら生活することが大切です。いずれにしても 2021 年が皆さんにとって、希望を見いだせる年になることを祈りたいところです。

1 月 2, 3 日に行われた箱根駅伝、皆さんはテレビあるいはラジオで観戦しましたか？私は熱心な駅伝ファンではありませんが、それでも若者が 1 つの目標に向かって団結する姿が好きで、毎年見っていますが、今年もたくさんのドラマがありましたね。最後の 10 区、誰もが創価大学の優勝だろうと疑わず応援していたのだと推察します、アンカーの選手がたすきをつなぎ走り出したときの状況に、「過去 8 回ほど、10 区で逆転がありましたので・・・」というコメントが入ったのを、私は、まさか今回は・・・と聞き流していました。しかしそのまさかが、残り 2 キロでの駒澤大学の逆転。あきらめなかった走者と、コロナ禍で思うように活動できなかったであろうチームメンバーたちの気持ちの集大成が、総合優勝という見事な結果に繋がりました。20 年前の第 77 回大会で、駒沢大学は 10 区で順天堂大学に逆転され優勝を逃しました。悔しかったであろう、その時の無念を 20 年かけて挽回できた とそんな一言では語りつくせない物語がここまできつとあり、悔しさが形となって結実するには、汗と涙といった日々の努力と時間の積み重ねがあつてこそなんだ と、監督の思いや選手たちの表情から、見て取ることができました。「歴史は未来になる」そんなことばを、今年の箱根駅伝で体感し、私も頑張ろうと思える時間になりました。また、前日の 12 位から 4 位という驚異的な追い上げをはかり、復路（ふくろ）優勝を果たした青山学院大学は、1 つも区間賞が無い中での復路優勝でした。秀でた選手がいてもなかなか優勝までいかない中、これこそ団体の力、駅伝の面白さを見ました。加えて、感心したことは、どの大学の選手たちも、寮生活や共同生活をしながら、箱根で絶対走りぬくことを目標に頑張ってきています。かなり感染リスクの高い状況の中、どのチームからも感染者を出すことなく、緊張感をもって感染対策をしっかり行っていた事、これもチームの力ですね、見習うことが多くあ

りました。

あらためて思うことがあります。それは、できない とあきらめる前に、完璧にやってみようじゃないか！ということです。コロナだからできない ではなく、今できることを完璧に実践する。誰が感染してもおかしくない状況ですが、絶対に感染しないよう、注意を払い努力をしようということです。校内に、消毒液の配備箇所を増やしてもらいました。これは皆さんの命を守るためです。今年も、ウイルスとの闘いはしばらく続く様相です。首都圏では再度の緊急事態宣言が出される方向であり、長野県も2つの圏域がレベル4、医療体制が危機的な状況に入ってきています。1人の身勝手な自分本位の行動で、全体が迷惑をこうむることだけは避けなければいけません。まずはやらなければいけないことを完璧にやりましょう。今、マスクを着用していますか？今日、嬉しくて大声で奇声をあげた人はいませんか？食事の際は食べることに集中し、おしゃべりはマスクをつけてからしましょう。皆さんのちょっとした気づきと行動が、未来を作ります。そのことを忘れないように、ぜひ行動してください。

そして今年も、世の中で起きていることに疑問を持ちながら、今自分にできることは何か。年のはじめに、そんなことを含め、今年目標を立て、1年を元気に過ごして欲しいと願います。

最後に連絡です

本日より、1, 2年生の数学で、ご退職された畑田先生の後任として、植松みのり先生にお世話になります。どうぞよろしく申し上げます。